

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 4 年 4 月 5 日



SERVE TO CHANGE LIVES

2021~22 年度

国際ロータリー会長

Shekhar Mehta

(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)

豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

Rotary



第 2935 例会

第 2530 号

2021.7~2022.6

会 長 森本博明

副 会 長 北村公一

幹 事 小川佳伸

雑誌・広報・会報委員長

澤木政光

本日 (4 月 5 日) のプログラム

次回 (4 月 12 日) のプログラム

「豊中ロータリークラブの国際奉仕活動について」

「それって本当？」

国際奉仕委員長：小寺潤一

卓話担当：豊島了雄



★会長の時間★

「会長の時間をお借りして」

2021-22 年度 会長 森本博明

本日は延原ガバナー補佐の第 2 回公式訪問でございます。よろしくお願ひします。
当クラブは 1 月 25 日から 3 月 15 日までの間、蔓延防止措置の再延長の影響で休会でした。3 月 21 日に大阪府の蔓延防止措置が全面解除となり、本日の例会に延原ガバナー補佐そして神寶ガバナー補佐エレクトを予定通りにお迎え出来たこと、また豊中ロータリークラブの皆様と再びお会い出来た事を大変嬉しく思います。

さて本日が 3 月の最初の例会であり、3 月の最後の例会でもあります。ようやく例会も開催されるようになりましたが今後のコロナ禍の状況次第ではまだまだ先の見通しが見えないのが現状であります。そこで先ず、会長の時間をお借りして会員の皆様にお詫び、そしてお願いがございます。会員の皆様が楽しみにされている例会ですが上半期の 8 月、9 月の 6 回そして下半期の 2 月、3 月の 6 回の合計 12 回の休会がございました。その件に関して改めてお詫びを申し上げます。その休会に伴って、当クラブの会計の逼迫が予想されますので、まことに心苦しいことではあります。4 月から 6 月の会費の徴収は従来通り行わせていただきたいと思います。また中止例会の食事代の返還は期末に必ず行いたい。そしてその返還金は会計の状況を勘案して理事会で返還額を決めさせていただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

さて皆様のお手元にある 3 月 1 日、15 日そして 22 日発行の週報の会長の時間では 3 月 1 日より 3 月 15 日までの動向を掲載させていただいておりますのでご一読ください。そして 22 日発行の原稿を書かせて頂いた翌日の 3 月 16 日の 23 時 36 分頃福島県沖を震源とする地震があり震度 6 強の揺れを観測しました。現地の方々の心中を思うと何も言葉が思い浮かびません。心よりお見舞い申し上げます。

また 3 月 1 日には現理事、被選理事会のみを開催させて頂きました。毎年 3 月から 6 月は次年度への引継ぎ事項が多々あり特に重要な時期です。また予期出来ない支援金及びコロナ禍の影響また事務局員の退職金の件などと当クラブの会計の収支がアンバランスな状態になっております。近年どの組織でも会員減少により会自体の存続に色々苦心されているのが現状であり当クラブも決して他人ごとではありません。

理事会でも以前から議論されていますように会員の皆様からお預かりしている大切な会費で成り立つクラブ運営ですので改めてクラブ予算の見直しが重要課題だと思います。また全ての奉仕活動に注力するのではなく各委員会の予算を統合するのも良い事だと思います。本年度、社会奉仕委員会と青少年委員会共同で予算を捻出し社会福祉協議会を通じてレトルトカレー 1,000 食分 (43 万 2 千円相当) をこども食堂へ寄付した件がその一つです。品物は全て納入済で 3 月 29 日に贈呈式が行われます。4 月から 6 月末日までの 3 か月で次年度へのバトンタッチがスムーズに出来る様に最善を尽くしますので、会員の皆様どうぞ今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。(令和 4 年 3 月 15 日)

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内

TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例会日時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事務局：10 時~16 時(土日祝を除く)

HP アドレス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2934回	第2931回
例会日	3月22日	12月18日
① 会員数 A	37	37
(内出席免除者)	8	8
② 出席義務者数	29	29
③ 出席義務者出席数	18	16
④ 出席免除者出席数	4	5
⑤ メイクアップ数		5
⑥ 出席義務者欠席数	11	13
出席率 %	66.67%	76.47%

出席率 (2934回) $\frac{③+④}{②+④}$ 出席率 (2931回) $\frac{③+④+⑤}{②+④}$

○幹事報告○

- ・国際ロータリー第2660地区
「2021-22年度 地区国際奉仕委員会 NewsLetter 第3号」が届きました。
「SNS活用のための情報交換会（有志参加のミーティング）のご案内」が届きました。

🌀 掲示板 🌀

- ・第10回定例理事会
日時：2022年4月5日（火） 本日例会終了後
場所：ホテルアイボリー 例会場
- ・地区研修・協議会
日時：2022年4月9日（土）
登録 12:00~17:00 終了
場所：大阪国際会議場 10階 1003
- ・豊中RC春の家族会
日時：2022年4月17日（日）
8:30 ホテルアイボリー集合
場所：天橋立方面

☆4月受付当番☆

チーフ：村司辰朗会員

- 4月5日 小寺潤一会員、松本拓朗会員
- 4月12日 眞下 節会員、松本 悟会員

◎副幹事・副SAA当番◎

- 4月副幹事 宮田幹二会員
- 4月副SAA 田畑榮彦会員

😊 3月22日のニコニコ箱報告😊

- ・皆出席（20年）祝いを頂いて
松山会員
- ・誕生日祝いを頂いて
木村、矢野、小寺、松山、原各会員
- ・結婚記念日祝いを頂いて
米田、吉川、狩野各会員
- ・家内の誕生日祝いを頂いて
横田、狩野各会員
- ・入会記念日祝いを頂いて
武枝、都井各会員
- ・延原ガバナー補佐宜しく願い致します。
森本会員
- ・例会再開です。宜しく願い致します。
森本会員
- ・お供え有難うございました。
都井会員
- ・Liさん、卒業、就職おめでとう！
岩本会員
- ・休み中、元気で過ごすことができました。
谷野会員

第7回 ZOOM 談話室報告

令和4年3月21日 20時開催

参加者：岩本、小川、北村、米田、武枝、松山、森本（敬称略、五十音順）

話題：ガバナー補佐訪問への対応、奨学生終了時の茶話会、会員増強の現況、名誉会員の推薦について、コロナ禍による例会休会と会費の返還について、子ども食堂への贈呈式（3月29日）、各委員会の引継ぎについて、新旧合同理事会、GGについて、インスタグラム開設等。

今回参加者が少なかったが多岐にわたって意見の交換がありました。フォーラムや談話会を開催しても参加者は毎回限られています。ロータリークラブは人生哲学の研修の場ともいわれ、会員同士が顔をあわせて議論を行うところに意義がある、と思っています。例会やフォーラムは研修の場でありコロナ禍にあっては談話室も研修の場であると認識しています。（文責北村公一）

🌸4月のお祝い🌸

・会員誕生日

村司 辰朗 会員	S.27. 4. 6
佐川 正治 会員	S. 30. 4.26
眞下 節 会員	S. 23. 4.14
志水 清紀 会員	S.39. 4. 3
宮田 幹二 会員	S. 23. 4.26

・ご結婚記念日

澤木 政光 会員	S.38. 4.14
小寺 潤一 会員	S. 58. 4.11
北村 公一 会員	S.38. 4. 2
今川 英紀 会員	H. 2. 4.14
小牧 義昭 会員	S.59.4.15

・ご夫人誕生日

小寺 潤一 会員	裕子 夫人	4.28
原 和永 会員	郁子 夫人	4.11

・ご入会記念日

狩野 裕 会員	H.31. 4. 9
田畑 榮彦 会員	H.31. 4. 9
南 浩暁 会員	R. 3. 4. 1



🌸3月22日の卓話🌸

「豊中 RC の奨学生として」
—私が感じた日本—

豊中 RC 奨学生 Li Jiayao



私の日本での学生生活はまもなく終わりを迎えようとしています。振り返ってみると、日本にいた6年間は本当に様々な思い出があり、懐かしく感じております。この機会に、自分が日本について感じたことを述べたいと思います。

日本に来た私の第一印象は、とても美しい国だと感じました。学会出張などで行ったオランダや、自分が生まれた北中国は、冬は本当に寒く、とても生活しづらいです。

日本のマイルドな天候、四季折々変化する綺麗な自然環境と、整備された街並みや清潔な道沿いなどはとても印象的でした。生活していくうちにわかってきたのは、元々、海に囲まれた美しい国ではありますが、やはりこの綺麗な自然環境を保ち続けられるのは、ゴミを道沿いに捨てないことや徹底的なゴミの分別回収などの秩序を守る国民の努力があってこそだと感じました。自然環境の美しさは、暮らしている日本人達の心の美しさを映し出したものではないかと、私は思います。

日本の美しさは、自然環境だけではなく、文化的な面でも強く感じます。神社やお寺などを訪れると、静かで落ち着いた雰囲気を感じ、とても穏やかな気持ちになります。建物が何かを話すことはありませんが、その佇まいから、訪れた人々に歴史を語りかけているようにも感じました。

入国当初は、身の周りで体験できることは少なかったのですが、生活していくうちに、日本人の方と接触する機会も増え、価値観や習慣についても詳しくわかるようになりました。最も印象に残っている日本人の素質は、日本人の真面目な性格です。些細なことでも丁寧にやり遂げることを重視しており、周りの日常生活の中でもそれを実感しました。日本人の真面目さは、産業などの国際的な発展にも繋がっているとも感じています。日本産の電気製品や車などは、世界的に有名であり、世界トップランクのメーカーに日本産が名を連ねています。また、日本のサービス業の評判の良さも全世界に知られています。日本のサービスのクオリティの高さは、働いている一人一人が丁寧に仕事していることに由来するものだと思います。

さらに、性格面での誠実さや謙虚さなども日本人の美德として挙げられるものだと思います。オランダでの訪問留学に行った際、日本に来られたオランダ人の先生が何度も私に「日本は本当に素晴らしい国」と言っていました。電車に乗っても、決して隣の席は取らないし、列に並んでも、決して横入りしない。そういった秩序を守る精神は、本当に美しいと思っています。

しかし、日本が最初から素晴らしい国であったというわけではないと思います。国民一人一人が持っている美德を積み重ねた上で、国際的に魅力的な国になることができたと思います。日常生活の中で日本人から感じた美德は、これから自分も身に付けられるように頑張っていきたいです。

もう一つ、日本に来てから素晴らしいと思ったことは、障害者福祉システムが完備されていることです。街中では、目が悪い方のための点字ブロックや足が悪い方のためのスロープが設置されているのをよく見かけますし、車椅子の方が交通機関での移動を一人でもスムーズにできている場面に遭遇する事もあります。障害者の方への配慮は物理的なものだけではなく、精神的なものにも感じることができます。私は大学で、障害者の方と一緒に授業を受けたことがあります。大学の事務にも障害を持つ方がいました。社会的な環境においても、差別なしにできるだけ平等を意識している部分を感じられます。このような文化的側面があるからこそ、日本は先進的な国となったのではないかと思います。

GDPなどの経済指標は、その国の力を評価するのに用いられます。しかし、社会的に弱い立場にあり、何か不自由がある方に対する配慮や支援が充実していて、誰もが幸せに暮らせる国であることもまた、その国の発展を表す指標なのではないかと思います。もちろん、皆様はこの感情を私以上にわかっておられると思います。ロータリーの理念である『超我の奉仕』、『他者に対する思いやり』はまさに社会奉仕を強調していると思います。そして、外国の貧しい家庭からきた留学生である自分や、他の奨学生を始め、子ども食堂など、豊中ロータリークラブの皆様もまさに、相手の国籍人種を問わずに、身からロータリーの理念を実現されていると思います。

改めて、私が体感した日本は、本当に素晴らしい国だと思います。今の日本が出来上がったのも、長年日本を支えてきた方々のおかげだと思っております。ロータリーでの例会に参加するときにはいつも、「この人たちののおかげでこんな良い国になったのだろう」と思いつつ、例会や卓話を楽しみました。そしてロータリアンの皆様の、偉大な人柄や風格に触れることができ、とても喜ばしく思っております。この三年間、例会に参加する機会を頂いて、毎回自分の専攻分野外のことを聞くことができ、新鮮な多様性が溢れているテーマを聞くことで、非常に勉強になったと思っております。

皆様のご発表された際の経歴を見て、とても圧倒され、様々な時代を通しての皆様の成功にとっても感服しました。人格の魅力も強く感じ、ロータリーの方々には人生の成功の他に、面白くて趣ある人と感じています。その中でも、お亡くなりになられた福盛様に、特にそう感じておりました。福盛様が例会の発表者であって私が写真を撮りに行ったときは、いつも元気でVサインをしてくれました。皆の前で写真を撮っている私は実は結構緊張していましたが、そうしてくれるところを見て、緊張が和らいだので、本当に優しい方だと感じました。今でも、写真を撮るときは、はきはき大きな声でお話する目の前の福盛様の姿は、まるで昨日のこのように光景が目に浮かびます。この場を借りて、改めて福盛様に哀悼の意を申し上げたいと思います。

ロータリーでは、例会だけでなく、家族会や互礼会など、お互いの友情を深める場もたくさんありました。我々奨学生もいつも連れてくださいました。下鴨踊りや美術館、福知山城などでの観光を通じて、日本の文化の良さを深く感じました。もともと歴史的なものが好きで、そういった日本に対する理解を深める旅は非常に楽しかったです。また、互礼会や家族会、そしてよく開催して下さったパーティーなどでも、ロータリアンの方々の絆の深さを強く感じました。自分もそういった情がある人になりたいと思っており、そして、将来的に余裕が出たら、ロータリーで学んだ社会奉仕の精神の下に、困難な人々を助けたいと思っております。

また、こういった、発表の場やイベントの場で学んだ知識だけではなく、基本的な生活態度やマナーも勉強させていただきました。元々、メイクや服装のコーディネートは得意ではなく、変なメイクや服装の時、松宮さんが直してくださいました。そして、私は元々時間に関してルーズであって、よく遅刻していました。それを松宮さんは注意してくださり、愛情をもって厳しく諭してくださいました。その後は反省し、遅刻しないように時間に厳しくなりました。たまに事務局でお茶会をすることがありました。色んなテーマについて皆で論じることが、私は好きでした。こういった教育の場を与えてくださったことにより自分が成長したことを実感しており、ロータリーは自分にとって、ただ奨学金をいただくだけではなく、ここでしか聞けないことが聞け、ここでしか教えてくれないことを学ぶことができる、自分にとって大きく成長できる場所だと確信致しました。この三年間本当にたくさんのことを学び、大変お世話になったと感じます。

私は、日本で就職することを選び、日本で受けた教育を社会に還元したいと思っております。私にとって今日は最後の例会になります。4月からは東京で、一人で人生を歩いていかななくてはなりません。本音を言えば「自分一人でするだろうか」という不安を強く抱いております。そんな不安な気持ちの中で感じたのは、やはり、“ロータリーで学んだことは、自分にとって一生の宝である”ということです。最後になりましたが、これまで私に様々なことを教えてくださったロータリアンやその関係者の方々に、深く御礼を申し上げたいと思っています。今まで本当にありがとうございました。